

令和元年度「消費者志向経営優良事例表彰」表彰式  
名和委員長講評

令和2年1月24日

本日は、都合により、会場にお伺いすることができず、大変申し訳ございません。消費者志向経営優良事例選考委員会の委員長を務めました名和高司でございます。本日、表彰されました事業者の皆様におかれましては、誠におめでとうございます。

各事業者の皆様とも消費者志向経営に大変積極的に取り組んでおられます。そのため、ご応募いただいた取組の中から表彰事例を選考することは、難しいものでしたが、他の選考委員の皆様と議論を重ね、選考させていただきました。それでは、講評させていただきます。

**【株式会社広沢自動車学校】**

まず、内閣府特命担当大臣表彰を受賞されましたのが、株式会社広沢自動車学校です。同校は、徳島県で「命を大切に作るドライバーを育てる」ことを使命にかかげる地域に密着した自動車学校です。消費者とのコミュニケーションが非常に優れている点を高く評価させていただきました。従来の自動車学校という枠にとらわれず、消費者側に踏み込んだ活動をされており、地元でとても愛されています。消費者を第一に考え、命の大切さをドライバーとしてずっと持ち続ける卒業生を輩出しています。また、卒業後もSNS等を活用したきめ細やかなアフターフォローを行うことで、地域社会に貢献されています。

中小企業として異例の受賞と思われるかもしれませんが、しかし、特段枠などを設けたものではなく、大企業にひけをとらない優れた取組内容が内閣府特命担当大臣表彰にふさわしいと評価しました。

今後は、理念に沿った仕組みを社内に構築していただくとともに、環境教育をプログラムの中に取り入れることも期待します。

次に、消費者庁長官表彰受賞企業の講評に移らせていただきます。長官表彰受賞企業3社の間に順位はございません。本日は応募の順に講評を述べさせていただきます。

**【サントリーホールディングス株式会社】**

まず、消費者庁長官表彰を受賞されましたサントリーホールディングス株式会社。サステナブル社会の形成のためにリーダーシップを取って行動している

点が高く評価されました。具体的には、プラスチック問題に対応し、全ペットボトルの素材をリサイクル素材と植物由来素材へ切替えることを目指すなどといった方針を策定・発表。また自社の新しい工場の建設等にも取り組まれています。

選考委員会の場合では、現在は結果が消費者まで届いていないとの指摘もありました。しかし、まずは従業員が率先して環境意識を高め、行動している点は評価すべきとの見解で一致しました。今後は消費者や業界を巻き込みながら、世の中を更に引っ張って行ってほしいと願っています。

### 【日本生命保険相互会社】

同じく、消費者庁長官表彰を受賞されました日本生命保険相互会社。同社は、消費者志向経営とサステナブル経営の一体感のある取組の中で、さまざまな社会課題に取り組んでいらっしゃいます。中でも、高齢化社会に対応し、長生きをした際に大きな金額を支払う「長寿生存保険」を業界で先駆けて発売した点や、保険の資金運用でESG投資数量目標を設定している点を高く評価しました。

そのほか約5万名の営業職員が全国のお客様を訪問するなど、地域に密着した地道な活動を継続している点も評価させていただきました。

今後は、ESG投資に関する顧客への情報提供の充実や責任投資原則に基づく活動等を期待します。

### 【花王株式会社】

同じく、消費者庁長官表彰を受賞されました花王株式会社。同社は、昨年度の内閣府特命担当大臣表彰に続く受賞です。トップの強いリーダーシップによりESG経営に舵をきったこと、プラスチックの使用量削減やリサイクルに向けた活動を強化したこと等を評価させていただきました。なお、今年度の選考にあたり、昨年度の受賞企業については、過去1年程度の取組内容をもとに評価することとしました。選考委員会においては、消費者志向経営の裾野を拡大する観点から、2年連続の受賞の是非等も含め議論をいたしました。花王株式会社におかれては、昨年度は消費者相談の取組が高く評価されたのに対し、今年度の表彰では、ESGへの率先した取組や持続可能な社会への対応等が優れている点を評価させていただきました。

改めまして、今回、内閣府特命担当大臣表彰、消費者庁長官表彰を受賞された事業者の皆様、心よりお祝い申し上げます。今回の表彰を弾みとして、今後さらに消費者志向経営の取組を進めていただきますよう、お願いいたします。

最後に、この表彰を契機として、消費者志向経営の取組がさらに推進されること、来年度以降の表彰では、より多様な事業者の応募によって多様な優良事例が生まれることを期待しまして、私の講評を終わります。

以上